

## 平成30年度 第1回 血友病診療センター運営委員会

日 時： 平成30年10月29日（月）17時05分～17時40分  
場 所： 診療棟3階西 カンファレンスルーム2, 3  
出席者： 小林委員長, 藤井副委員長, 木村, 川口, 山崎, 松原, 柴, 池田, 藤田,  
河江代理（岩城）, 梶原, 岡田 各委員  
欠席者： 中島, 武澤, 西村 各委員

### 報告事項

1. 広島大学病院血友病診療センターについて  
小林委員長から資料1に基づき、広島大学病院血友病診療センター設立の経緯や役割、組織・人員体制、期待される効果について報告があった。
2. 広島大学病院血友病診療センター運営委員会細則（案）について  
小林委員長から資料2に基づき、広島大学病院血友病診療センター運営委員会細則（案）について報告があった。
3. 血友病診療連携ブロック拠点病院および地域中核病院について  
小林委員長から資料3および4に基づき、血友病診療連携ブロック拠点病院および地域中核病院の確認および各病院との連携の重要性について報告があった。

### 議 事

1. 各診療部門との連携について  
小林委員長から資料5に基づき、各診療部門との連携の重要性について説明があり、川口委員より血友病遺伝子検査を実施していく上で、本院の遺伝子診療部との連携や遺伝カウンセラーの役割が重要となるため、遺伝子診療部の遺伝カウンセラーを本会の運営委員に加える提案があった。また、藤井副委員長から、病院総務より診療科を小児・成人と分けている現状を踏まえ、歯科に関しても、小児・成人双方の歯科を記載する方が望ましいと指摘があり、小児歯科の香西 克之医師を委員に加える提案があった。  
審議の結果、遺伝子診療部との連携方法の確認や遺伝カウンセラーを委員に追加することを前向きに検討することとした。また、小児歯科の香西 克之医師を委員に加わっていただくよう要請することとした。
2. 成人における包括外来実施について  
藤井副委員長から、現在小児対象で実施している包括外来を、成人にも対象を拡大する提案があった。  
審議の結果、関節レントゲン撮影のみであれば他院でも可能だが、血友病性関節症に伴う筋力低下を認める症例は、リハビリテーション科の介入により血友病性関節症の進行抑制に繋がるため、実施する方針となった。ただし、各診療科ともに人員の問題があるため、小児の包括外来のように決まった日時に集中的に行うのではなく、コンサルテーションという形で、適宜対応することとした。
3. 本院血友病診療センター設置およびその体制の情報発信について  
小林委員長より、院外への情報発信についてはホームページ作成がよいと提案があった。また、藤井副委員長より、ホームページ内容に関しては、本院ホームページにある他センターの掲載方法に倣うことが望ましいとの提案があった。  
審議の結果、院外への情報発信はホームページ作成により行うこととし、その作成に  
関しては、事務が決定するまでは山崎委員が取り纏めを行うこととした。

#### 4. 問題症例の相談窓口について

小林委員長および藤井副委員長から、これまで問題症例の相談に関しては個人のメールアドレスにて受け付けていたが、今後はどのようにしていくかの問題提起がなされた。

審議の結果、問題症例の相談窓口は一本化することが望ましいと各委員の意見が一致し、山崎委員にまず連絡が入るように体制を整える方針となった。具体的には、本センターホームページ作成時に、問題症例の相談窓口として山崎委員のメールアドレスを掲載することとした。なお、転院症例の相談窓口に関しては、これまで通り患者支援センターであることも併せてホームページに掲載することとした。

#### 5. 本会における検討事項および開催日時について

小林委員長から、本会における検討事項および開催日時に関して、相談症例や新規患者が生じた際に日程調整を行い、その症例を共有する形式の提案があった。

審議の結果、今後の本会は、相談症例または新規患者が発生した際に開催することとした。次回のみ、本院通院中の血友病患者および血友病類縁疾患患者の共有を行うため、下記の日程にて開催予定とした。

#### その他

1. 次回の委員会は、平成30年12月または平成31年1月に開催する予定とした。詳細に関しては、山崎委員が各委員と調整を行い、追って報告することとした。

以 上